



曾根崎交通安全協会
曾根崎自家用自動車部会
〒530-0027
大阪市北区堂山町1-5
三共梅田ビル6階611号室
TEL (06) 6315 - 8505
FAX (06) 6315 - 8506
制作・印刷 (株)タップハウス



謹 賀 新 年

本年もよろしくお願い申し上げます
令和8年 元旦



曾根崎交通安全協会
会長 中野由彦
役員一同

曾根崎警察署
署長 田中文幸
署員一同

年始のごあいさつ

曾根崎交通安全協会
会長 中野由彦

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は、新年早々平穏な年明けを打破る「トランプ大統領がベネズエラのマドゥロ大統領とその妻を拘束しアメリカへ移送した」という、フェイクニュースではと思われるニュースが飛び込んで来て、更にトランプ大統領は地球の西側やグリーンランドもアメリカの支配下に置く発言を繰り返す等、今後の世界情勢に不透明感が増し、我が国への影響も少なからずあるものと思います。

このような情勢の下、日本国では初めて女性の高市早苗氏が第104代総理大臣に就任し、国民の高い支持率を得ています。

特に若者からの支持率が高く、政治に期待が持てる政権としての評価を得て、将来展望が持てる政策を次々と打ち出している結果の現れではないでしょうか。

物価高対策もこれから本格化すると思いますが、交通安全諸対策の視点からも物価の安定は望むところであります。

交通安全は心の安定も運転に影響されると聞き及んでいます。

落ち着いた精神状態は、安全確認、速度抑制、周囲への目配り、心配り、譲り合いの気持ち等々、安全運転への影響は大いにあると思います。

交通安全への思考を高めるため、交通安全協会は、警察をはじめ自治体・自治会・交通安全協力諸団体協力会社、企業、団体の協力を得ながら、街頭キャンペーン、各種広報媒体による交通安全への呼び掛けを行っています。

また、警察署交通課員と緊密な連携のもと幼稚園をはじめ、小中学校・高校・大学・専門学校・会社・企業等に至るまで「出前式交通安全教育」を実施しています。

交通安全啓蒙・啓発活動の一例を挙げますと、本紙4枚目に掲出している、昨年の「秋の全国交通安全運動」期間中の一貫行事として行った、関西テレビで放映している「旬感LIVEとれたてっ!」で活躍中の青木源太さんを一日警察署長に招き交通安全を訴えました。

<次ページに続く>



同行事には、阪急うめだ本店のご支援とご協力を得て、買い物客等で賑わう、同店9階の「祝祭広場」で実施しました。

本年は「春の全国交通安全運動」の初日行事として、4月6日(月)午前11時から約1時間 阪急梅田駅改札前広場において、タレント 斉藤雪乃さんを「一日警察署長に委嘱し、警察官との交通安全トークを開催予定で準備中です。

いずれの行事も、曾根崎交通安全協会員及び地域振興連合町会並びに自治体、関係機関等の協力を得て行います。

昨年の交通事故発生状況は、府警本部の中嶋 交通部長のご説明、曾根崎警察署 田中署長のご挨拶で報告していただいていることから割愛させていただきます。

当協会は「人に優しい交通社会」を理念とし様々な工夫を凝らした交通安全諸活動に取り組んで行きたいと考えています。

本年も地域の方々の声に耳を傾けながら、曾根崎警察署と連携を図り、協会理念の更なる発展と円滑な交通社会形成のため職員一同取り組んで参ります。

今後も温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご発展と御家族のご多幸、ご健勝を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭挨拶

大阪府警察本部

交通部長 なか 中 しま 嶋 まさ 正 ひろ 浩

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また平素は、警察行政の各般にわたり、深い御理解と御支援・御協力を賜っておりますことに対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

一般財団法人大阪府交通安全協会におかれましては、道路交通法に定める「大阪府交通安全活動推進センター」として、長年にわたり、大阪府下の交通事故をゼロにするため、幅広い交通安全活動を推進してこられました。貴協会の献身的な活動なくして、安全な交通社会の維持は困難であり、これまでの活動に対しまして、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。



さて、昨年は、11月後半に交通死亡事故が急増し、11月25日には、2年ぶりとなる大阪府知事名の「交通死亡事故多発警報」が発令されるなど、厳しい情勢が続きました。とりわけ、二輪車の交通死亡事故が大幅に増加したほか、お酒を飲んで路上で寝ている最中や、横断歩道ではないところを横断している最中に命を失ってしまうという事故が目立ちました。

また、自転車の法令違反を伴う交通事故も後を絶たず、11月末時点での状況を踏まえると、

○ 自転車乗用中の死重傷者数は、10年連続で全国最悪
となること、ほぼ確実です。あわせて、ヘルメットの着用率も至って低調で、

○ ヘルメット着用率は、2年連続で全国最低
となっており、自転車を取り巻く大阪府内の情勢は、全国的に見て悪い意味で異次元のレベルにあると言えます。

大阪府警察としましては、本年4月から自転車の交通反則通告制度の導入が控えていることもあり、「自転車であっても、自転車だからこそ、ルールを守る」、「大切な命を守るため、ヘルメットをかぶる」という意識の徹底に向けた取組を粘り強く推進するなど、府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の確立に向け、組織の総力を挙げて交通安全諸対策を強力に推進してまいります。

皆様におかれましても、それぞれの持ち場・持ち場で交通事故ゼロに向けた取組を展開していた

だき、ともに、交通事故で悲しむ方をなくしてまいりましょう。

結びに、曾根崎交通安全協会の益々の御発展と、皆様の御健勝、御多幸を心から御祈念申し上げ、また、府民の笑顔をまもるため皆様とともに全力を尽くすことをお誓い申し上げまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

年頭の挨拶

曾根崎警察署

署長 たなか 田 中 文 幸

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また平素は、交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、深い御理解と御支援・御協力を賜っておりますことに心から厚く御礼申し上げます。

さて、去年の交通事故発生状況につきましては、大阪府下の死者数は120人と前年に比べ減少し、統計上は過去最少ということにはなりましたが、件数、負傷者数については僅かながら増加するなど、依然として厳しい状況にあります。

曾根崎警察署管内におきましても死亡事故の発生は無かったものの、発生件数、負傷者数ともに増加しました。

交通情勢につきましては、自転車利用者による交通事故や交通違反が深刻な課題となっており、今春の道路交通法の改正により自転車利用者に対する交通反則通告制度が適用されることから、学校や事業所での講習、利用者への啓発、歩行者が行き交う商店街、車両の通行量が多い幹線道路での監視と取締りの強化、より一層の安全対策に取り組むこととし、歩行者、車、自転車が行き交う北区ならではの環境を踏まえた交通事故の防止に全力で尽くして参ります。

また現在、力を入れている特定小型原動機付自転車いわゆる電動キックボード等のモビリティ利用者に対する交通ルールの周知、取締りについても引き続き強化して参ります。

去年の各種広報啓発活動につきましては、曾根崎交通安全協会の皆様の多大なる御協力を賜り、春の交通安全運動では曾根崎警察署において気象予報士の片平 敦氏に、秋の交通安全運動では阪急阪神百貨店の祝祭広場において、フリーアナウンサーの青木源太氏にそれぞれ1日警察署長を委嘱し、交通安全キャンペーンを開催するなど、効果的な交通安全思想の普及活動を展開することができました。

その他にも、地域交通安全活動推進員の研修を兼ねた「交通安全教育コンクール」では、大阪市北区役所地域課員と当署の交通課員2名で出場し、交通安全に関する意識と技術の向上に努め、方面区大会において第三位の成績を収めることができました。

本年も署員一丸となって交通の安全確保に一層取り組んで参りますので、引き続き変わらぬ御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、曾根崎交通安全協会・自家用自動車部会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



令和8年 交通安全標語

いずれの作も総理大臣賞です。

- 運転者部門 急ぐほど 狭まる視野と 増すリスク
- 歩行者等部門 親を見て 子供も止まる 赤信号
- こども部門 車から ぼくたちみえない 手をあげよう

令和7年中の交通事故発生概況について

1 交通事故の概況

- 発生件数、死者数ともに減少しました。
- 負傷者は微増しました。
- 死者数は、120人で全国ワースト6位でした。

2 交通死亡事故の特徴

(1) 状態別

- 二輪車の死者38人(前年比+12人)で前年と比較し増加しました。(11月末統計による)

(2) 類型別

- 人対車両、出合頭による死者、重傷者は前年と比較し増加しました。(11月末統計による)

(3) 昼夜別

- 4時台から6時台と14時台から16時台の死者・重傷者は前年と比較して増加しました。(11月末統計による)

(4) 法令違反別

- 法令違反別では、歩行者妨害による死者・重傷者は前年と比較して増加しました。(11月末統計による)

大阪府内の交通事故

区分	年	令和7年	令和6年	前年対比	増減率(%)
件数		25,008	24,780	228	0.9
死者数		120	127	-7	-5.5
(内高齢者)		50	60	-10	-16.7
負傷者数		28,789	28,690	99	0.3

曾根崎警察署管内の交通事故

年	令和7年	令和6年	前年対比	増減率(%)
件数	278	265	13	4.9
死者数	0	1	-1	-100
負傷者数	330	316	14	4.4
(内重症者)	37	26	11	42.3

令和7年 全国の交通死亡事故(ワースト都道府県)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
都道府県	神奈川県	東京都	北海道	埼玉県	千葉県	大阪府
死者数	139	134	129	125	122	120
前年比	30	-12	25	12	-9	-7



令和7年「秋の全国交通安全運動」

そねざき交通安全キャンペーンを実施しました。

曾根崎警察署は、9月21日(日)から10日間、全国一斉に行われる「秋の全国交通安全運動」を控え、9月18日(木)大阪市北区角田町 阪急うめだ本店9階「祝祭広場」において、関西テレビ「旬感LIVEとれたっ!」で活躍中のフリーアナウンサー青木源太さんを「一日警察署長」に委嘱し、同運動の重点である



- 歩行者の安全な道路横断方法
 - 夜間歩行中の反射材用品活用や明るい目立つ服装着用
 - 歩きスマホ「ながら行為」や飲酒運転の危険性
 - 自転車ヘルメットの装着・電動キックボードの交通ルール遵守等について、買い物客で賑あう広場で、交通警察官と青木署長による交通安全トークで交通安全を呼び掛けました。
- イベント終了後、ゲスト、主催者等で交通安全グッズ等を無料配布しました。

主催 曾根崎警察署・曾根崎交通安全協会
協力企業団体 阪急うめだ本店・関西テレビ放送(株)
(一社)大阪府自家用自動車連合協会

令和8年「春の全国交通安全運動」のキャンペーン予定のご案内

舞夢プロ所属の「鉄道大好き」の斉藤雪乃さんを一日警察署長に任命し交通安全を訴えるイベントを予定しています。

○日時・場所

令和8年4月6日(月) 午前11時から午前11時45分の間
大阪市北区芝田1丁目1番3号
阪急電鉄梅田駅改札前広場

○お願いするタレント

斉藤雪乃さんで、ご紹介(プロフィール)しますと、関西出身の鉄道ファン(乗り鉄)です。

鉄道をテーマにしたテレビ番組、ラジオ放送、雑誌に多数登場しています。

テレビでは、

ぐるっと関西おひるまえ
(NHK大阪)
かんさい鉄道車両めぐり
リポーター
ウィークエンド関西
(NHK大阪)
「ノッて行こう」コーナー
鉄オタ選手権(NHK総合)

おとな旅あるき族(2012、テレビ大阪)

等に出演活躍中です。

○イベントの内容

企画中です。

